

<子ども教育学科> (認定課程: 中一種免(英語))

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	「基礎教養系科目」の履修を通じて、社会人としての教養を身に付けるとともに、中学校の外国語(英語)の学習指導要領の学びをもとに、めざす英語力(学習到達目標)について理解を深める。 「英文法論Ⅰ」や「英語コミュニケーションⅠ」での学習を通じて、実用的な英語の基礎学力(聞く・読む・話す・書く)を身につける。
	後期	前期同様に「基礎教養系科目」の履修を通じて、社会人としての教養を身に付ける。 「英語音声学」や「英語コミュニケーションⅡ」等の履修を通じて、英語の音声的な特徴を理解する。 また、英語らしいリズムを体感的につかみ、正しい英語を産出しながら、より実用的な英語力を身につける。 2年生以降の専門科目へ進むための基礎学力(聞く・読む・話す・書く)を身に付ける。
2年次	前期	「英語学概論Ⅰ」の履修を通じて、英語を学ぶ過程で学習者にとって必要となる知識全般を身につける。 「英語コミュニケーションⅢ」の履修を通じて、1年次に履修した「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」で身につけた実用的な英語の基礎学力(聞く・読む・話す・書く)をより確実なものとするために、自分の考えをまとめたり、多読による要約をしたりしながら、より明確に相手に伝えるための語彙力・表現力を身につける。 「英語科教育法A」の履修を通じて、英語指導の際に不可欠な「基礎的知識」を身につける。
	後期	前期に引き続き「英語学概論Ⅱ」の履修を通じて、英語を学ぶ過程で学習者にとって必要となる知識全般を確実に身につける。 「英語科教育法B」の履修を通じて、実際の英語の授業における指導内容について理解を深め、ALTやICTの活用方法、授業案の立案を通して、実践的な英語授業指導力の基礎を養う。次年度以降に実施する実習科目に向けて準備を整える。 「異文化コミュニケーション」の履修を通じて、世界に目を向け、異文化を受け止めながら、自国の文化を振り返る。
3年次	前期	「英語科教育法C」の履修を通じて、2年次に身につけた知識を活かし、実際の英語の授業における指導内容を検討し、ALTやICTの活用を積極的に取り入れながら、単元構想図、1単位時間の授業案を立案する力を身につける。 「Academic Writing」の履修を通じて、英語で論理的に考える方法を理解し、正しい表現で、まとまりのある文章を書きまとめる力を身につける。
	後期	「英語科教育法D」の履修を通じて、現場の授業参観をしたり、授業ビデオを分析したりしながら、よりよい授業にするための手立てを考えることを通じて、教材研究を充実させることができる力を身につける。 教職の現場を常に意識しながら「専門応用科目」に取り組み、実践力を身に付ける。また、実習によって得られた教職現場の問題点について、これまでに身につけた知識・経験を利用して解決法等を考案することができる。 継続的な英語学習を進め、自律的学習者として、より英語力に磨きをかける。
4年次	前期	教育実習(中学英語)での自分の授業ビデオを分析し、よりよい授業にするための手立てを考える力を身につける。 「卒業研究」における卒業研究の取り組みの中で、教職現場の問題解決に関する仮説を提案し、その検証のために、これまで身につけてきた知識・指導技術・研究手法等を活用する。また、教職現場で必要不可欠な記述力やプレゼンテーション力に磨きをかける。 継続的な英語学習を進め、自律的学習者として、より英語力に磨きをかける。
	後期	「卒業研究」の実施を中心に、これまでの学習や実習を振り返り、教員として活躍するにあたっての自らのストロングポイント・ウィークポイントを明らかにし、ウィークポイントをカバーするための知識・経験を補うとともに、ストロングポイントを更に伸ばしていくために必要な能力を身につけるための戦略を立て、実行する。 継続的な英語学習を進め、自律的学習者として、より英語力に磨きをかける。